

## 指定管理者評価表

### 1 基本情報

<b>(1) 公の施設の名称</b>	
堺市立日高少年自然の家	
<b>(2) 施設の設置目的</b>	
豊かな自然環境の中で行う集団宿泊生活及び諸活動を通じて少年(20歳未満の者をいう。)の心身の健全な育成を図るため設置	
<b>(3) 所管部局</b>	
子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども育成課	
<b>(4) 指定管理者名</b>	
公益財団法人大阪YMCA	
<b>(5) 指定期間</b>	
平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)	
<b>(6) 主な事業</b>	
青少年を対象とする集団宿泊訓練及び自然学習等	
<b>(7) 有料施設の有無</b>	
有(利用料金制)	
<b>(8) 公募・非公募の別</b>	
公募	
<b>(9) 主な利用者</b>	<b>(10) 市内における受益対象者数</b>
指導者が引率する少年の団体等	不特定多数
<b>(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標</b>	
無	

## 2 管理運営状況

## (1)特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

和歌山県立博物館との協働により堺市内の小学校に対する磯観察時の学芸員の派遣プログラムを継続して行った。また、昨年度の新規プログラム「防災ラリー」に続き、利用団体から要望が多かった雨天時プログラムとして「室内ミニ運動会」を年度末に作成した「活動の手引き」に掲載した。

## (2)利用者サービス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者名	公益財団法人大阪YMCA	公益財団法人大阪YMCA	公益財団法人大阪YMCA	公益財団法人大阪YMCA	公益財団法人大阪YMCA
ア 利用者数 (人)	32,050	31,659	28,144	27,434	
利用者数の算出方法	利用延べ人数で算出				
市による状況分析	台風による利用中止や台風や新型コロナウイルス感染症による臨時休館に伴い減少した。				

イ 稼働率 (%)	64	54	62	65	
稼働率の算出方法	利用のあった日(宿泊翌日も含む)を開館日で割って算出				
市による状況分析	台風や新型コロナウイルス感染症による影響で利用者数は減少したが、稼働率の低い3月が臨時休館となったため稼働率は増加した。				

ウ 利用者満足度 (%)	65	81	97	91	
利用者満足度の測定方法	(1)調査対象:(利用団体)小・中学校等の利用団体担当者に配布(195団体) (主催事業)「家族のつどい」に参加した各家族に配布 (2)調査方法:施設職員による配布、回収 (3)調査期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日 (4)回答数:(利用団体)91(主催事業)44				
市による状況分析	指定管理者の様々な取組により、アンケート結果(全利用団体の内、訳半数から回答)からも高い利用者満足度を維持している。				

## (3)管理体制等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	13	14	15	13	12
イ 職員研修(回) ※令和2年度は予定回数	18	16	23	11	11
ウ 要望、苦情等(件)	0	0	0	1	—
エ 事件、事故等(件)	1	0	1	1	—
市による状況分析	適切に職員数を配置し、研修を実施している。また、事故苦情への迅速な対応や学校等の利用に関しては教員等による事前の下見の段階で注意事項等をしっかりと共有することにより、再発防止の取組をしており安定的な管理体制を整えている。				

## (4) 収支状況(単位:円)

## ■ 指定管理業務

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	指定管理料	54,500,000	54,500,000	54,500,000	55,005,000	55,510,000
	利用料金	9,706,400	9,573,600	8,627,900	8,586,600	11,050,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	15,832	18,394	18,942	17,348	20,000
合 計		64,222,232	64,091,994	63,146,842	63,608,948	66,580,000
イ 支出	人件費	36,332,662	36,954,749	38,983,857	40,026,948	39,500,000
	委託料 ( )内は総支出額 に占める委託料の割合	9,979,429 (16.0%)	10,723,788 (17.0%)	9,727,878 (15.0%)	9,737,773 (14.8%)	12,090,000 (18.2%)
	修繕費	709,555	360,822	369,671	771,376	300,000
	光熱水費	8,111,436	7,608,186	8,132,608	8,188,820	8,200,000
	その他経費	7,349,409	7,555,256	7,505,467	6,955,502	6,490,000
	合 計	62,482,491	63,202,801	64,719,481	65,680,419	66,580,000
利用者一人当たりの支出額		1,950	1,996	2,300	2,394	—
ウ 収支差額		1,739,741	889,193	-1,572,639	-2,071,471	0

エ 市への納付金の額	—	—	—	—	—
オ 徴収委託の場合 の徴収額	—	—	—	—	—

市による状況分析	台風や大雨の影響による利用中止に伴う利用者減少により、利用料金収入が減少し、収支差額もマイナスとなっている。
----------	--

## ■ 自主事業 (有)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	4,188,240	4,158,670	4,293,650	3,274,300	76,351,000
イ 支出	3,474,830	3,882,806	4,216,215	3,537,941	76,351,000
ウ 収支差額	713,410	275,864	77,435	-263,641	0

エ 市への納付金の額	—	—	—	—	—
------------	---	---	---	---	---

オ 事業数(回)	11	11	10	8	
----------	----	----	----	---	--

カ 参加者数(人)	1,250	1,149	1,209	824	
-----------	-------	-------	-------	-----	--

主な自主事業	家族や子どもを対象とした海洋活動などのキャンプ活動
--------	---------------------------

市による状況分析	指定管理者による様々な取組を行い、安定的な自主事業を実施したが、台風によるキャンセルや新型コロナウイルスによる臨時休館の影響で、収支差額がマイナスとなった。
----------	--

### 3 目標管理、評価等

#### (1) 適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	利用者数 利用団体数	(設定理由) 利用の実績を把握するため
	目標	①市内小学校利用数55校以上 ②その他市内団体利用団体数40団体以上 ③利用者数(延べ) 35,000人以上	(設定理由) 利用費収入の増加により安定的な運営をしていくため
	実績	①34校 ②16団体 ③27,434人	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 地震・津波に対する不安を解消するために休館期間等に学校訪問を行い丁寧な説明等を行っているが利用が伸びないのが実情である。台風や新型コロナウイルス感染症による影響の為、約1200名の利用減となった。



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	食堂内での事故発生を受け、食堂業者とも安全についての確認を行い、海洋プログラムを含め、安全に対するスタッフの意識向上を図った。
---------------------------------------	---

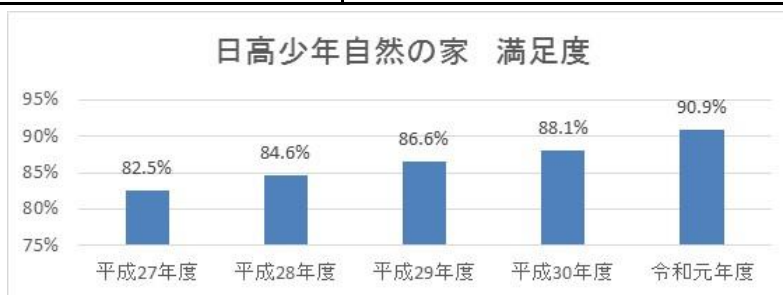
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	海洋プログラム指導中の口調についての苦情があった。内部調査を行い指導上の厳しい口調がある為謝罪を行い、教育的視点からの研修を行った。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価
	評価	B	B
	具体的な理由	利用希望日が集中し、希望通りの日程が取れない、地震・津波に対する保護者からの不安がある等の理由から利用団体数が伸びない状況がある。	利用希望日の集中については、抽選会を開催することで、可能な限り利用者の要望に応えた。また、SNS等で施設の魅力を積極的にPRするとともに、利用者に対する安全啓発を行った。
	対応策等	休館期間に堺市内小学校16校訪問を行い、丁寧に安全対策についての説明や、利用時のリクエストを聞き取った。そのことを受け今後、新規プログラム・雨天時プログラムの開発、貸出備品の充実等、運営面に反映させていく。また、和歌山県立博物館学芸員の派遣プログラムを今後も行っていく。	今後は学校訪問以外に9月以降の日帰り利用を積極的に案内するなど、利用の少ない期間の充実を図ることで、コロナ禍での利用向上に努められたい。また、アンケート等によって利用者ニーズを把握し、ニーズに応じたプログラムを実施されたい。

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	利用者満足度	(設定理由) 利用者促進・サービスの向上
	目標	70%以上	(設定理由) 満足度を高めることによりリピート率を上げ、利用者促進につなげる。
	実績	90.90%	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 良好である。スタッフの柔軟な対応や丁寧な対応に評価を頂いている。



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	学校訪問時のリクエストを運営に反映している。
--	------------------------

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	A	A	
	具体的な理由	職員の対応・体制には天候や海の状況に応じた柔軟な対応や丁寧な対応におおむね良い評価を頂いている。	自主事業については、予約状況では昨年度を上回る申し込みがあったが台風による利用中止や新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館のため、利用人数としては減少したが、釣りキャンプなどの利用者ニーズの高いプログラムを実施したことで高評価につながった。	
対応策等	施設の利便性、安全面・衛生面に置いて施設の構造上の意見や老朽化や寝具に対する意見が見られる。物理的や、経費的に対応が難しいが改善に向けての協議を行っていく。また、かなり古くなってきている寝具の交換等の検討が必要と思われる。職員の対応・指導体制等は今後も引き続き研修等を行い、丁寧かつ状況に応じた対応が出来るようにしていく。	利用者からの意見をしっかりと把握し、その状況に応じ適切に対応している。今後の備品の交換等については、引き続き協議していく。また、利用の少ないシーズンに、その時期にしかできないプログラムを実施していくなど、更なる事業の充実を図りたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 適正な収支による適正な施設運営の把握
	目標	11,000,000円以上	(設定理由) 利用者数設定に対応し設定
	実績	8,586,600円	(分析) 台風や新型コロナウイルス感染症による臨時休館の影響で、キャンセルや自主事業の中止などに伴い減少した。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	利用者増加＝収入増加となるため、下見時や当日受け入れ時の対応をより丁寧に行う、利用団体からのリクエストに対しての柔軟な対応等により利用者増加の取組を積極的に実施している。
------------------------------------	---

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	B	B	B
	具体的な理由	台風による自然災害や新型コロナウイルス感染症による臨時休館により利用者が減少した。また、年々少子化に伴う生徒数の減少も影響が大きいと考えられる。	台風による利用中止や新型コロナウイルス感染症による臨時休館に伴い利用者数が減少し、目標数に到達できなかったが、市内小学校への訪問説明やSNSでの周知、様々な自主事業等の企画による取組を実施した。	
対応策等	下見・利用時のより丁寧・柔軟な対応を行い利用者増をめざす。また、学校訪問等で聞き取った内容を運営面に反映し、利用促進につなげていく。	引き続き市内小学校への訪問説明や9月以降の日帰りプランの案内、SNS等での周知など、積極的にPRに努めることで、施設利用の促進を図っていただきたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80～100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの